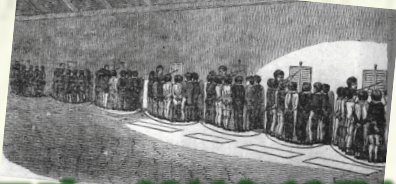


《研究会》

ベル＝ランカスター教授法の世界流行 —フランスとオスマン帝国—

ベルとランカスターが考案した、分業と規律化を通じて一度に大量の子供たちを効率的に教育するモニトリアル・システムと呼ばれる教授法は、19世紀初頭にイングランドで普及し、その後またたく間に世界に伝播しました。本研究会では、この教授法のフランスとオスマン帝国における受容と展開について比較考察を行います。関心をお持ちの方はどなたでも奮ってご参加ください。



日時：2011年12月18日（日）14:00～17:00

場所：東洋文庫2階会議室（東京都文京区本駒込2-28-21）

駒込駅（JR山手線・東京メトロ南北線）徒歩8分

千石駅（都営地下鉄三田線）徒歩7分

スケジュール：

14:00 趣旨説明

14:10 報告1 前田更子（明治大学）

「19世紀前半フランスにおける民衆教育と博愛主義者」

14:55 報告2 秋葉淳（千葉大学）

「オスマン帝国におけるベル＝ランカスター教授法の導入（1830-40年代）」

15:40 休憩

16:00 討論（～16:45）

Engrossed & Published for the British & Foreign School Society by F. Ware, 63, High Holborn.

主催：人間文化研究機構プログラム・イスラーム地域研究東洋文庫拠点

科研費基盤C「オスマン帝国における教育の連続性と変化(19世紀～20世紀初頭)」

（代表：秋葉淳）

問い合わせ先：秋葉淳

263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学文学部

Email: j-akiba@faculty.chiba-u.jp Tel: 043(290)3630